

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 平成 29 年度定時総会議事録

開催日時：平成 29 年 5 月 21 日（日）15:30～16:30

開催場所：奈良県立医科大学 大講堂

会員数：613 名（5 月 21 日現在）

出席者：423 名（当日出席者 121 名、委任状による出席者 302 名）

欠席者：210 名

I 仮議長挨拶

嶋田事務局長から議長が選出されるまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

藪内副会長が、平成 29 年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会定時総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

吉村会長から前年度の奈臨技活動の総括と協力会員へのお礼があった。また、総会では、事業・会計報告や事業計画などの議案があり、議事の円滑な進行への協力要請と十分な審議を願う挨拶があった。

IV 来賓の紹介

嶋田事務局長から本総会に出席頂いた山崎正晴顧問、松尾収二顧問、中村文彦顧問、山中 亨名誉会員の紹介と出席のお礼が述べられた。

V 来賓挨拶

本年度は名誉会員である倉本哲央会員が叙勲、瑞宝双光章を受章された報告があった。しかし、その倉本氏は誠に残念なことに 5 月 19 日にお亡くなりになったと訃報の報告があり、5 月 18 日に倉本氏より当会に対し、お礼状が届いたと報告があった。本来ならば、ご出席いただいた来賓の方よりご挨拶を頂戴するが、本年は倉本氏から寄せられたお礼状を事務局にて代読披露することに代えたい旨説明があり、お礼状が代読された。

その後、倉本氏のご冥福をお祈りし会場全員にて黙祷をおこなった。

VI 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるもなく、仮議長が下村大樹（天理よろづ相談所病院）、辻野 秀生（奈良県総合医療センター）の二氏を提案し、拍手多数にて承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VII 議事

1. 総会役員を選出

下村議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるもなく、事務局から下記の提案があり、過半数を超える拍手多数をもって承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

中森 隆志（田北病院）議事運営委員長、兼資格審査委員長

永井 直治（天理よろづ相談所病院）

高田 旬生（天理よろづ相談所病院）

山口 正悟（奈良県総合医療センター）

〔書記〕

成田 真奈美（天理よろづ相談所病院）

河野 紋（天理よろづ相談所病院）

2. 総会成立の宣言

中森資格審査委員長から、本日の出席者 423 数名（出席者 121 名、委任状出席者 302 名）で正会員数 613（名）の過半数を超えているため総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

1) 第 1 号議案：平成 28 年度事業経過報告について

下村議長から、平成 28 年度事業経過報告について、一括報告後に承認を求めるとの説明後、下記の担当理事から議案書に基づき説明があった。

(1) 総括：吉村会長

最初に、本年度は、役員改選後初年度であり 11 名の新理事を加え新たな奈良県臨床検査技師 会としてスタートしたが、会員、賛助会員の皆様のご協力のもと無事に運営できたことに感謝申し上げます。

本年度は前年度に引き続く事業を行うこと念頭に実施してきた。特に 本年度は、日臨技が全国開催している全国「検査と健康展」の中央会場を務めることとなり、11 月 12 日（土）の当日は組織委員会を中心に 95 名の会員、賛助会員 に実務委員としてのご協力を得、1239 名もの一般参加者の方にご来場いただき、大盛況に終えることができた。また、法人設立 30 周年・奈良県臨床検査技師会創立 60 周年の節目の年度でもあり、3 月 26 日（日）には奈良県知事をはじめ奈良県 医師会、病院協会等の奈良県関連団体、日臨技、近畿支部各府県の代表の方にもご出席、ご祝辞等も賜りその後の祝賀会も各方面団体の方々、賛助会員の方々との交流も はかれ有意義なものとなった。また、これに関連して 3 名の方が奈良県知事表彰 を受賞され、50 名の方が永年職務奨励者表彰を受賞された。平成 26 年度から継続している「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」も最終年度となり、二日間にわたる研修会を

無事に終了できた。地域保健事業部が行う、各団体との共催事業である 3 つの検査展も例年どおり充実した企画となり、福利厚生関連事業の参加者も例年を上回る参加を得、企画運営担当者の苦勞が報われ、かつ会員相互の連携にもお役にたてた。

次年度も多くの会員、賛助会員のお力添えを頂き、我々専門職のスキルアップ並びに県民の皆さまの健康増進のお役にたてる事業を展開していくことを説明した。

(2) 事務局 総務部：嶋田事務局長

平成 28 年度も定款に基づき、定時総会を 1 回と通常理事会を計 11 回開催した。庶務部会では奈臨技ニュース、会誌等の会員への配布物を事務局から一括して業者便とメール便を用いての配付した。奈臨技ホームページではコンテンツの拡充に心掛け、毎日のアクセスが年間約 5 万 4600 件（平均 150 人/日）と昨年度に比べ 22%の増加と多くの訪問者があったことや関連団体に理事や会員を派遣した事など報告があった。

(3) 事務局 経理部：上杉経理部長

財政の適正化について要旨が説明された。また、一般社団法人（移行法人）として、顧問税理士の協力を得ながら各種財務諸表作成等の決算処理や日常経理処理業務の円滑実施および公益目的事業費率の適正維持等の義務を厳守した旨、説明があった。

(4) 組織法規部：中田組織法規部長

会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会の開催、法人設立 30 周年創立 60 周年記念式典、記念講演、記念祝賀会の開催を実施した旨、説明があった。

(5) 学術部関係：倉田検査研究部門担当部長 猪田精度管理担当部長 小谷生涯教育部長

第 33 回奈臨技学会は一般演題 13 題、シンポジウム 3 題、特別講演、ランチョンセミナーを行い盛大に開催した。また、検査研究部門活動は、計 86 回の研修会を開催しのべ 1391 名の参加があった。精度管理調査は、57 施設の参加があり日臨技システムの利用して実施した。生涯教育事業では、日臨技へ奈臨技学術部が開催する生涯教育研修会の登録を行った。チーム医療への貢献を目的とした、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催した。

(6) 渉外部：高木渉外部長

日臨技の 11 月の全国「検査と健康展」の中央会場として奈良県が担当し、講演会のテーマには「がん」と「健康食」を取り上げ 1239 名の参加者を得て、終了できたことの報告があった。

(7) 地域保健事業部：京坂地域保健事業部長

「奈良イベント」、「橿原市ふれあい・いきいき祭」、「なら糖尿病デー2015」等、県民への生活習慣病の予防や健康への啓発を目的とした県内の地方公共団体及

び医療関係協会と連携した活動を実施し、約 100～250 名の参加があったことが報告された。

(8) 地域保健事業部 公衆衛生部門：栗岡公衆衛生担当部長

国民の健康づくりと検診の普及・啓発に向けて、また臨床検査技師の PR を目的として「がん撲滅のための検査展」「桜井市 陽だまりフェスタ」での検査展を開催し多数の参加者あった旨、報告された。

(9) 福利厚生部：東谷福利厚生部長

技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、会員の親睦を深めるため、同好会助成内規に基づきアウトドア同好会とボウリング同好会を開催し、40 名前後の参加があった旨、報告された。

(10) 広報部：岸森広報部長

会誌まほろばを 1 回、奈臨技ニュースを毎月の発行について説明があった。

(11) 地区担当部：中森地区担当

事務局と連携をとり、会員の異動、奈臨技事業の実務委員推薦、施設代表者・連絡責任者会議を開催した。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、下村議長から第 1 号議案について質問、意見を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第 2 号議案：平成 28 年度決算報告について

下村議長は、平成 28 年度決算について、上杉経理部長に説明を求めた。

平成 28 年度決算：上杉経理部長

議案書に基づき要旨が説明された。貸借対照表、正味財産増減計画書、財務諸表に対する注記、財産目録について説明があった。また、公益目的支出計画実施報告書についても詳しく説明された。

平成 28 年度決算について説明を受けたのち、下村議長から第 2 号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

3) 第 3 号議案：平成 28 年度監査報告について

下村議長は、長谷川監事に平成 28 年度監査報告を求めた。

平成 28 年度監査報告：長谷川監事

平成 29 年 4 月 19 日に平成 28 年度事業・会計監査および公益目的実施報告書の監査を実施し、事業計画等を円滑に遂行され、会計収支に不正がないことを認める説明があった。

以上、下村議長から第3号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

4) 第4号議案：平成29年度事業計画について

辻野議長から、平成29年度事業計画について、一括した説明後に承認を求めるとし、下記の担当理事から議案書に基づき、説明があった。

(1) 総括：吉村会長

本年度も例年に沿った内容での事業が中心となる。平成25年度から3年間開催された、「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」は前年度で終了し、日臨技では次のステップとして、外来・病棟、在宅などの臨床現場で多職種連携医療の一員として活躍できる人材育成を目指した講習会を新規事業として予定している。また、組織強化の一環として、人材育成に主眼を置いた、卒後3年目(2~5年)を中心とした、日臨技主催「初級・職能開発講習会」を都道府県単位で開催するとともに、地域ニューリーダー育成事業の継続を推進する。今年度奈臨技では、日臨技主催の臨床検査技師のための「認知症対応力向上講習会」事業に参画する方向で動いており、具体的な内容が明らかになり次第、会員の皆様にお知らせする。また、奈臨技の大きな事業として、平成30年度日臨技近畿支部学会を奈臨技が担当することになり、平成28年度後半に準備委員会が立ち上げられた。その中で、日程と会場が決定し、あとは準備に関わる実務員の人選を進めている。今年度は、開催準備に向けて本格的に進めていく。

平成27年度より奈臨技の人材育成として事業を行うための委員会を強化し、学術活動では各分野の分野員を増員して研修会活動の充実を図り、より多くの会員の企画側へのご参加をお願いしている。平成28年度は「全国検査と健康展」をはじめとする事業に大変多くの会員の協力を頂くことができた。本年も事業を展開するための委員会委員、学術分野員の一部交代することで多くの会員に末端の実務を担う形での技師会活動へのご協力をお願いしていく。公益事業活動を通じて社会貢献できる人材、学術分野員として企画運営側でスキルアップを図り、卒後教育を担う若い人材が育って行く事を目標とする。

最後に平成29年度事業について計画して頂いた各部局担当理事、検査研究部門の部門長、分野長の方々にお礼申し上げ、また、事業計画を充実したものにするためには会員の皆様のご支援が不可欠であり、今後も技師会活動への積極的なご参加、ご協力をよろしくお願いしたい。

(2) 事務局 総務部：鳴田事務局長

今年度は、理事が1期2年目であり昨年度に比べより安定した理事会および当会の活性化を図るよう努力する。また、例年通り定款に基づき総会は年1回の定時総会、各種委員会の開催、日臨技への協力する説明があった。

他には、各施設代表者によるメーリングリストを用いた情報共有が行なわれてきたが、アドレスの更新などに手間がかかり実用的でないことから、日臨技のメール一斉送信機能を用いてさらなる情報共有を行っていききたいと報告があった。

(3) 事務局 経理部：上杉経理部長

議案書に基づき財政の適正化と一般社団法人としての会計基準の維持について要旨が説明された。会員・賛助会員の入会促進に加え、生涯教育推進研修会の申請を積極的に行うことで収入確保に努め、公益目的事業活動・生涯教育活動を充実させることで公益目的事業費用規模を維持・継続していく旨、説明があった。

(4) 組織法規部：中田組織法規部長

会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会員研修会を企画する旨、説明があった。

(5) 学術部関係：倉田検査研究部門担当部長

検査研究部門運営、精度管理推進事業、生涯教育研修事業に大別し、委員会を設置し運営する。

「こんなところに臨床検査技師」をテーマに第34回奈臨技学会を開催した。精度管理調査、生涯教育研修事業、データ標準化事業についても昨年度同様に実施する旨、説明があった。

(6) 渉外部：高木渉外部長

今年度の公開講演はテーマを「アンチエイジング」とし、2月に榎原万葉ホールにおいて開催できるよう計画を進めており、県民に情報を提供していきたい旨、説明があった。

(7) 地域保健事業部：京坂地域保健事業部長

県民対象の医療や公衆衛生の啓蒙活動として、地方公共団体及び医療関係協会と連携した活動に協力すると共に、県民への臨床検査啓発活動を推進する説明があった。

(8) 地域保健事業部 公衆衛生部門：栗岡公衆衛生担当部長

日臨技の公益事業として、がん撲滅のための検診受診の啓蒙、STI 予防そして臨床検査のPR活動をとおして、国民の健康づくりに貢献することを目的とし、9月には「がん撲滅のための検査展」を開催する。

また、県民の皆様に検査体験を通して臨床検査に対する正しい知識の普及、啓発を行い、健康づくりへの意識高揚を図るとともに、臨床検査の世界や臨床検査技師に興味を持っていただけるような催しを11月に開催する説明があった。

(9) 福利厚生部：東谷福利厚生部長

技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、同好会活動の助成を行っていく旨、説明があった。

(10) 広報部：岸森広報部長

会誌まほろぼと毎月の奈臨技ニュースの発行を理事会の承認を経て実施する旨、説明があった。

(11) 地区担当部：中森地区担当

執行部と会員および会員施設との連絡調整を行う旨、説明があった。

以上、各部局の事業計画について説明を受けたのち、辻野議長から第4号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

5) 第5号議案：平成29年度予算案について

辻野議長は、平成29年度予算案について、上杉経理部長に説明を求めた。

平成29年度予算案：上杉経理部長

議案書に基づき、予算の説明があり、日臨技からの助成対象事業の廃止等で日臨技助成金収入・雑収入を前年度より減額し、それに伴い対象事業支出の減額をしたことが報告された。

平成29年度予算案について説明を受けたのち、辻野議長から第5号議案について質問、意見を求めたが、質疑なく、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

6) 第6号議案：一般提出議題について

辻野議長は、事務局に一般提出議題の提案を求めた。

嶋田事務局長から、総会7日前、5月14日までに事務局に届いた一般提出議題は1件あると報告があり、以下の通り説明があった。

定款内規、名誉会員・顧問・名誉顧問に関する内規第1条に従い、その名誉会員資格を有する山本慶和会員を名誉会員に推薦する。とする推薦書が吉村会長より提出されており、去る5月2日の理事会にて理事会承認を得ております。総会での決議、承認が必要ですのでご審議のほど宜しくお願い致します。と報告があり、拍手多数にて承認された。

辻野議長より、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、執行部の追加動議の有無を確認するもなく第6号議案は終了すると宣告した。

その他、質問等なく、辻野議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことを宣告した。

VIII 総会役員及び書記の解任

辻野議長から総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

IX 議長挨拶

辻野議長から議事進行の協力に対して謝意が述べられた後、自らを解任する旨、宣告した。

X 閉会の辞

勝山副会長から一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 平成 29 年度定時総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し完了した。

平成 29 年 5 月 21 日
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

会 長 吉村 豊

監 事 長谷川 章

監 事 吉岡 明治